

活動実施報告書(令和 6 年度)

名称: 鹿児島市立桜峰幼稚園

4月:

取組内容	活動の様子(写真等)
<p>幼稚園にあるものを知ろう 手洗いの仕方を知ろう</p>	 <p>自分のコップを洗っています。</p>
取組結果・感想等	
<p>少しずつ確認をしながら、進めました。トイレに行った後の手洗いをしないで、トイレから出ようとするので、教師と一緒に取り組みました。</p>	

5月:

取組内容	活動の様子(写真等)
<p>ごみを分けて捨てよう 「ごみゼロの日」を知ろう</p>	 <p>ごみ減量教室(7月開催)</p>
取組結果・感想等	
<p>ごみの分別は、ごみ箱にイラストを付けて、幼児に伝えました。7月には、ごみ減ジャーも来園し、ペットやプラのリサイクルについて、学びました。</p>	

6月:

取組内容	活動の様子(写真等)
<p>給食をできるだけ残さずに食べよう</p>	
取組結果・感想等	<p>米飯が週3回, パン食が週2回です。</p>
<p>昨年から, 1ℓ入りの牛乳をカップに分けて飲んでいきます。環境に配慮した取り組みができています。苦手な食材を1つずつでも食べられるように, 毎日ていねいに一人一人に支援しています。</p>	

7月:

取組内容	活動の様子(写真等)
<p>水を大切にしよう 台拭きをていねいにしよう</p>	
取組結果・感想等	<p>手や給食用おぼんを洗う時に水を出しっぱなしにしてしまいます。まだ教師の見守りが必要です。みんなで気を付けて声掛けをしていくことが大切だと感じています。継続的に取り組みたいです。</p>

8月:

取組内容	活動の様子(写真等)
<p>夏休みです。</p>	
取組結果・感想等	

9月:

取組内容	活動の様子(写真等)
<p>植物を育てよう 好きな花をスケッチしよう</p>	
取組結果・感想等	
<p>年間を通して、植物を育てています。 3歳児は4・5歳児に教わりながら、観察したり、除草したりして、自分で育てたものを収穫して自宅に持ち帰り、自宅で家族と食べる経験を楽しんでいます。</p>	<p>3歳児が、ひまわりを描きました。</p>

10月:

取組内容	活動の様子(写真等)
<p>トイレをきれいに使おう</p>	
取組結果・感想等	<p>スリッパに番号を付けて、並べやすくしています。</p>
<p>トイレ掃除をすると、便座の淵が汚れていたり、トイレットペーパーが散らばっていたりします。継続しての指導が求められています。トイレのスリッパはだいたい自分たちで並べようとする意識が出てきました。</p>	

11月:

取組内容	活動の様子(写真等)
<p>使わない電気を消そう</p>	
取組結果・感想等	<p>5歳児がはりきって取り組んでいます。</p>
<p>「あっ電気消そうか」と気付いた幼児が絵本棚の上にある電気を自ら消すようになってきました。幼児が手に届く高さにあるのも、幼児の意欲を描き立たせていて、節電につながっています。</p>	

12月:

取組内容	活動の様子(写真等)
<p>みんなで最後まで片付けをしよう</p>	
取組結果・感想等	
<p>遊んだ後の片付けをみんなで取り組んでいます。三輪車を元の場所に始末している所です。じっくり片付けの時間を設けることが大切だと取り組んでいます。 教師も一緒に取り組み、幼児の意欲を褒めて認めています。</p>	

1月:

取組内容	活動の様子(写真等)
<p>絵本や物を大切にしよう</p>	
取組結果・感想等	
<p>何でも大切に扱うように指導しています。特に絵本は、絵本棚の各部屋に色を決めて、絵本の背表紙のシールを見て、始末する部屋を探して仕舞えるようにしています。時々、縦横逆だったり逆さまだったりするので、教師と一緒に取り組む必要があります。</p>	

2月:

取組内容	活動の様子(写真等)
<p>廃材を集めて、作ったり遊んだりしよう</p>	
取組結果・感想等	
<p>年間を通して、廃材を集めて活用しています。今年は、七夕さまの飾りに広告紙を使用して、三角つなぎや輪つなぎ等の飾りを作りました。また、段ボールを使ってロボット等を、楽しんで作って楽しみました。</p>	

3月:

取組内容	活動の様子(写真等)
<p>大掃除をしよう 自分たちの使いやすいように整理しよう</p>	
取組結果・感想等	
<p>室内で遊ぶスポンジブロックを洗って天日干しました。幼児も一緒に取り組むことで、自分たちの使いやすいように整理しようとする意欲が見られるようになりました。</p>	

1年間取り組んだ感想・ご意見

本年度は、年少児3名・年中児4名・年長児2名の9名の園児での生活でした。教師が幼児に教える姿を見て、幼児同士で教え合うことが増えて、様々なことを学んでいきました。一人一人の幼児の家庭環境とこれまでの育ちを理解して、幼児と丁寧に向き合っていく大切さを教師なりに日々感じました。これからも教師が手本になりながら、日々継続的に取り組んでいきたいです。
物が豊富にある今だからこそ、物の大切さそして命の大切さを本園なりに幼児に伝えたいと考えます。